

本件は警察庁からも同時発表しています。本ニュースリリースは、国土交通記者会、交通運輸記者会、自動車産業記者会で配布しております。

本部広報2013-053

2013年11月20日

後部座席でのシートベルト着用率 一般道路は依然低く35.1%

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 小栗七生）と警察庁は合同で、10月1日（火）～10月10日（木）までの間、「シートベルト着用状況全国調査」を実施し、その結果を公開しました。

全国883箇所調査の結果によると、後部座席のシートベルト着用率は、前年をわずかに上回り、一般道路が35.1%（前年33.2%）、高速道路が68.2%（前年65.4%）となりました。

一方、運転席の着用率は一般道路では98.0%（前年97.7%）、高速道路等では99.4%（前年99.5%）、助手席においてもそれぞれ90%を越える結果となりました。

後部座席は他の座席と比べ、着用率が大幅に低い状況に変わりがないことに加え、一般道路と高速道路等では2倍近い差があり、特に一般道路の後部座席シートベルト非着用の危険性が、認識されていないことを示す結果となりました。

JAFでは車内の安全を確保するため、自動車ユーザーへの呼びかけと後部座席同乗者にも自発的にシートベルトを着用するよう、これからもシートベルトの着用、並びにチャイルドシートの使用の啓発を中心にさまざまな活動を行ってまいります。

※詳細は、添付資料を参照ください。

交通事故発生の際、後部座席でシートベルトをしていないと3つの危険性があります。

- 1 車内の構造物（ピラーやシートなど）に激突し、自らが傷害を負う危険性
- 2 運転者や助手席同乗者へぶつかり、危害を加える危険性
- 3 窓などから車外に放出される危険性



※衝突テストの映像はJAFホームページから

<http://www.jaf.or.jp/eco-safety/safety/usertest/seatbelt/index.htm>

■添付資料：シートベルト着用状況全国調査概要2013年

「シートベルト着用状況全国調査（2013年）」の詳細報告書(PDF ファイル)のダウンロードはこちらから→<http://www.jaf.or.jp/eco-safety/safety/data/index.htm>

このリリースへの問い合わせは以下までお願いします。

一般社団法人 日本自動車連盟 広報部

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912

E-Mail:koho@jaf.or.jp URL: <http://www.jaf.or.jp/>

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館